



# R08 TEAM HIMUROの取組ダイジェスト



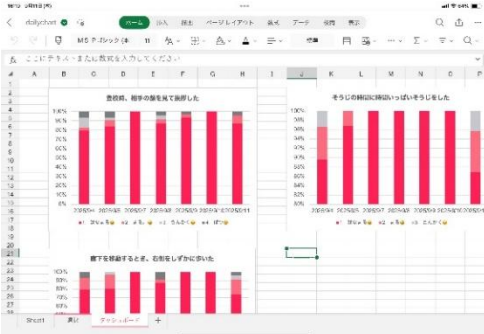
SWPBS



3月 「望ましい行動表」の策定  
R07 5・6年児童の意見で作り上げ完成  
東京学芸大学松山准教授との打合せ

場面/活動	自分のことを大切に	仲間を大切に	自立した態度を育む
登校時間・朝学習	机や机を整理し、机を片付ける。机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
準備時間	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
学習時間	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
休み時間	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
給食時間	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
掃除時間	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
移動時	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。
プレレートの説明	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。	机の上は清潔に保つ。机の周りには物を置かない。机の下のゴミは自分で捨てる。

5月 「相手の顔を見てあいさつしよう」  
・生活委員会のあいさつ週間  
・取組を振り返るアンケートを毎日実施



5月 「ふわふわ言葉とチクチク言葉」  
・各学級における取組の本格化

5月 松山氏による小中合同研修  
・オンライン研修の実施

5月 学校運営説明会で保護者へ協力依頼

5月 「望ましい行動を写真で掲示」  
・児童支援加配による写真掲示



3月

めざすゴール

- ・新規不登校者数 4人(R7)→0人
- ・自分の意見を言いやすい 69%→80%
- ・自分にはよいところがある 69%→80%

4月 始業式で校長から講話  
「当たり前のことを当たり前のように」

4月 校長・児童支援加配からSWPBSの説明と取組の共有  
・毎日2時間目の開始

4月 「チャイム着席をしよう」(学力担当)  
「下足箱に靴を入れよう」



5月

6月 「廊下は右側を歩こう」  
・生活委員会・児童会による価値づけ  
・児童集会での呼びかけ  
・取組を振り返るアンケートを毎日実施

6月 「ありがとうの木」設置予定(人権部)  
・中央廊下に児童同士が送り合う「ありがとうの木」を設置予定  
・放送委員会がお昼の放送で紹介

6月 「授業中における「望ましい行動」check (校内研)

場面/活動	自分のことを大切に	仲間を大切に	自立した態度を育む
登校時間			
朝学習			
準備時間			
学習時間			
休み時間			
給食時間			
掃除時間			
移動時			
プレレートの説明			



7月の研修期間Training Weekで各学級の取組共有

校内研究の取組



めざす子ども像の共有化とそのための手段の明確化

研究主題「主体的に学習に取り組む児童の育成」  
研究副題「よりよいゴールを目指して、自己調整できる児童の育成」  
研究内容「必然性のある対話」「途中参照・他者参照」「振り返り」の実施と充実



めざすゴール

- ・自己調整ができている 86%→90%
- ・交流による自分の考えの深まりや広がり 85%→90%

教師の「ミカタ向上」プロジェクト



高質化への働き方改革×生成AIの活用×TEAM HIMURO

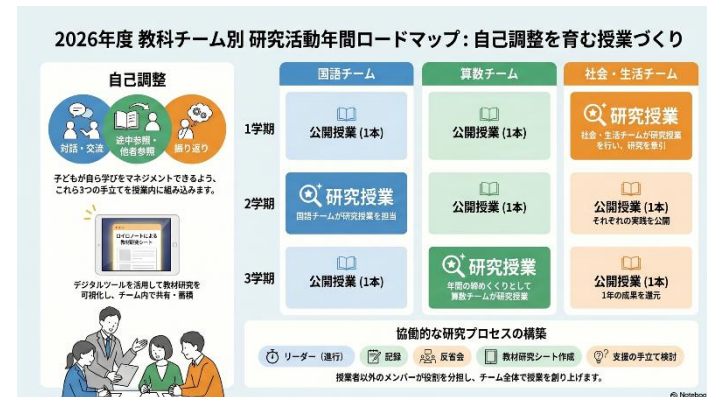
先生のミカタ向上プロジェクト

～互いに「味方」になり、子どもの「見方」を広げる～

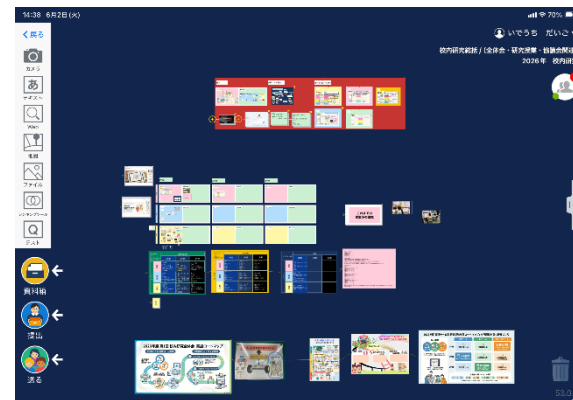
めざすゴール

- ・チャレンジ精神で企画や行動をしている 89%→90%
- ・働き方改革を進めることで、～自分の能力を高めることができた 50%→70%

R08 チームによる研究体制の構築



隔週 チームによる教材研究



70%